

# 徳島市文化振興ビジョン（案）

平成29年6月

徳島市



# 徳島市文化振興ビジョン（案） 目次

<b>序章</b>	<b>文化振興ビジョン策定にあたって</b>	
1	策定の趣旨	1
2	文化振興ビジョンの位置づけと推進期間	1
3	対象とする文化の範囲	2
<b>1章</b>	<b>文化を取り巻く状況</b>	
1	文化を取り巻く動向	3
2	徳島市の文化の現状と課題	5
<b>2章</b>	<b>文化振興施策の方向性</b>	
1	基本理念	7
2	基本目標	8
3	取組の基本的な視点	9
4	取組方針	10
<b>3章</b>	<b>推進体制等</b>	
1	推進体制	15
2	進行管理（評価）	15
<b>参考資料</b>		
	徳島市インターネットアンケート調査結果「徳島市の文化について」	17
	徳島市文化振興ビジョン策定のための市民会議設置要綱	27
	徳島市文化振興ビジョン策定のための市民会議委員名簿	28
	徳島市文化振興ビジョン策定のための市民会議開催経過	29
	用語説明	30



## 序章 文化振興ビジョン策定にあたって

### 1 策定の趣旨

文化は人の心を豊かにするとともに、心に潤いと安らぎを与え、ひとを輝かせる力があります。また、地域の文化は、歴史や風土とともに人々に大切に育まれてきたものであり、人と人とをつなぎ、まちへの愛着をより深めるとともに、まちを輝かせ、活力やにぎわいをもたらすものでもあります。

成熟社会の到来により、人々の価値観の重心が物の豊かさから心の豊かさへと移行する中、心に潤いや安らぎを与える文化芸術への関心が高まりを見せています。

本市には、阿波おどりや人形浄瑠璃に代表される伝統文化をはじめ、多彩な文化資源やそれらを継承し育ててきた多くの人材が存在します。他の都市にはない独自の魅力を生かしたまちづくりや、文化交流を通じた地域の絆づくりなどの観点からも、文化の果たす役割には大きな期待が寄せられています。

また、本市では、市民から待望されている新たなホールの整備を進めていますが、新たなホールが「市民の芸術文化の創造拠点」として、本市の文化振興において果たすべき役割を示し、市民の期待とニーズに応じていく必要があります。

このような趣旨を踏まえ、本市の文化施策を総合的かつ計画的に推進し、その指針となる「徳島市文化振興ビジョン」を策定します。

### 2 文化振興ビジョンの位置づけと推進期間

本市では、新たなまちづくりの指針となる「徳島市まちづくり総合ビジョン（平成29年3月策定予定）」において、「笑顔みちる水都 とくしま」を、目指すまちの姿（将来像）に掲げ、「つなぐ」まち・とくしま、「まもる」まち・とくしま、「おどる」まち・とくしま を、まちづくりの基本目標と定めています。

文化振興ビジョンは、こうした本市の将来像の実現に向けて、徳島らしい文化活動のさらなる振興や特色ある地域文化の創造に取り組むための文化施策の基本的な方針を示すものです。

文化は世代を越えて受け継がれていくものであり、また、様々な取組による文化振興の効果はすぐに現れるものではありません。このため、中長期的な視点に立った施策展開が必要となることから、ビジョンの期間は、まちづくり総合ビジョンの計画期間を踏まえ、平成29年度からおおむね10年間とします。なお、社会情勢や市民ニーズの変化などに柔軟に対応するため、必要に応じて見直しを行うものとします。

### 3 対象とする文化の範囲

国の「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第2次基本方針・平成19年2月9日閣議決定）」では、文化は、最も広くとらえると、人間の自然とのかかわりや風土の中で生まれ、育ち、身に付けていく立ち居振る舞いや、衣食住をはじめとする暮らし、生活様式、価値観など、人間と人間の生活に関わる総体を意味し、また、人間が理想を実現していくための精神活動及びその成果という側面もあるとされています。

このように、文化とは、広義に定義付けると「人々の生活すべてにまつわるもの」に広がっていきます。そこで、本市の文化振興の基本的な取組方針を示す「文化振興ビジョン」の策定にあたっては、国の文化芸術振興基本法に示されているものを基本としながら、とくしま市民遺産に代表されるような、これまで市民に愛され親しまれてきた魅力ある街並みや景観、伝統工芸、食文化などの特色ある地域資源も含めた広範な解釈をしていくこととします。

#### 【参考】文化芸術振興基本法において例示された対象分野

- 芸術（文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊等）
- メディア芸術（映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術）
- 伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎等）
- 芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱等）
- 生活文化（茶道、華道、書道等）
- 文化財等（有形及び無形の文化財並びにその保存技術）
- 地域における文化芸術（地域固有の伝統芸能及び民俗芸能）

# 1章 文化を取り巻く状況

## 1 文化を取り巻く動向

### (1) 社会的環境の変化と文化芸術の動向

重厚長大型の産業が牽引して日本の経済を成長・拡大させた時代が終わり、成熟社会を迎える中、経済成長や効率性のみ追求より、市民生活の質的な充実、環境への配慮などが求められています。特に東日本大震災後は、日常生活における心の豊かさや地域社会におけるつながり、地域の共通の記憶となる文化資源や独自の個性などが改めて見直されるようになりました。内閣府の国民生活に関する世論調査（平成 28 年 7 月調査）においても、約 6 割の人が今後の生活において「物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をすることに重きをおきたい」と回答しています。

また、経済社会のグローバル化が進展する中、我が国では本格的な人口減少時代が到来し、地方においては地域経済の疲弊、過疎化や少子高齢化、世帯構成の変化等の影響により、地域コミュニティの弱体化や文化活動の停滞・担い手不足が問題となっています。

そのような中、文化芸術や街並み、歴史等を地域資源として戦略的に活用し、特色ある取組を展開することで交流人口の増加や移住につなげるなど、地域の活性化を図る新しい動きを支援し、文化芸術を起爆剤とする地方創生の実現を図る方向性が国からも示されています。

### (2) 国の文化施策

国は、文化施策の方向性について以下のように示しています。

文化芸術振興基本法（平成 13 年 12 月 7 日法律第 148 号）及び文化芸術の振興に関する基本的な方針（第 4 次基本方針・平成 27 年 5 月 22 日閣議決定）

国の施策として、文化芸術が市民社会において社会的意義を持つものとして位置づけられ、文化芸術に象徴される創造的な活動が人々の暮らしを活性化させ、精神性の高い成熟した都市をつくり、地域活動の原動力として重要な役割を果たしていくことが求められています。

特に、第 4 次基本方針では、「社会を挙げての文化芸術振興」が必要とされ、地域資源として戦略的に活用するなどの地域活性化を図る新たな動きを支援し、文化芸術を起爆剤とする“地方創生の実現を図る”とされています。

さらに、我が国が目指す「文化芸術立国」の姿として、「あらゆる人々が全国様々な場で創作活動への参加、鑑賞体験ができる機会の提供」、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とする文化プログラムの全国展開」、「被災地からは復興の姿を地域の文化芸術の魅力と一体となり国内外へ発信」、「文化芸術関係の新たな雇用や産業を現在よりも大幅に創出」が明示されました。

このようなことから、地方自治体の文化施策は、市民の鑑賞や表現活動・創造活動を支援するなど文化芸術の振興そのものを対象とするだけでなく、文化芸術の振興を通じて、幅広い市民の社会参加を促すとともに、教育や福祉、産業や経済、まちづくり、国際交流など、多様な都市政策と関連させ地域を活性化させていくことが求められています。

また、劇場、音楽堂等の役割や運営について以下のように示しています。

劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年6月27日法律第49号）及び劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針（平成25年文部科学省告示第60号）

劇場、音楽堂等は、文化芸術を継承し、創造し、及び発信する場であり、また、人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々が共に生きる絆を形成するための地域の文化拠点となります。個人の年齢若しくは性別又は個人を取り巻く社会的状況等にかかわらず、全ての国民が、潤いと誇りを感じることで心豊かな生活を実現するための場として、また、社会参加の機会を開く社会包摂の機能を有する基盤として、常に活力ある社会を構築するための大きな役割を担っています。

劇場、音楽堂等では、劇場や音楽堂等の事業に必要な人材の養成や、実演芸術に触れる機会が大都市圏に集中している現状を打開するための環境整備が必要であり、地方公共団体が設置する劇場、音楽堂等は、各地方公共団体が定める文化芸術振興のための条例・計画等に則しつつ、長期的視点に立った運営方針を定める必要があるとされています。



## 2 徳島市の文化の現状と課題

### (1) 多彩な文化活動

#### 【現状】

- ◇音楽や舞踊、演劇、伝統芸能、美術、華道、茶道などの多彩な分野において、市民や団体等による主体的な活動が行われています。
- ◇文化活動に取り組む団体の中には、徳島市文化協会への加盟や団体ごとの組織化などにより、相互の連携やネットワークを強化している団体も多くあります。

#### 【課題】

- ◇市民の文化活動への参加機会や子どもたちが文化芸術に触れる機会の拡大が求められています。
- ◇文化活動の支援を行う専門的人材の確保が重要とされています。

### (2) 豊富な文化資源

#### 【現状】

- ◇徳島が世界に誇る「阿波おどり」や国の重要無形民俗文化財である「阿波人形浄瑠璃」、藍色で象徴される「藍染め」など、徳島の歴史と風土に育まれた多彩で個性的な文化があり、市民に愛され、親しまれています。
- ◇地域の人々の手により、様々な祭りやイベントも開催され、心豊かで潤いある市民生活に必要なものとなっています。
- ◇本市の豊かな自然環境や風土、歴史に育まれた数多くの文化資源を「とくしま市民遺産」として位置づけ、情報発信に取り組んでいます。

#### 【課題】

- ◇本市の伝統文化として、さらなる魅力の向上と情報発信に取り組む必要があります。
- ◇近代の歴史・文化資源について、その保存や継承、さらには活用方法についての取組が必要とされています。
- ◇少子高齢化の進行による活動の担い手や後継者の減少が顕著であり、人材の育成や次世代への継承が求められています。
- ◇「とくしま市民遺産」について、市民へのより一層の周知と様々な分野における活用についても取り組んでいく必要があります。

### (3) 新しい文化活動の展開

#### 【現状】

- ◇徳島LEDアートフェスティバルや、アニメーションが中心テーマとなったマチ★アソビの開催など、独創性のある新たな分野での文化イベントが展開され、県内外からも注目を集めており、本市の魅力を発信する大きなチャンスとなっています。

#### 【課 題】

- ◇他地域から本市を来訪する交流人口の増加など、本市の活性化にとって、大きな効果が期待できることから、観光や産業など、様々な分野と連携した文化活動の実施に取り組む必要があります。
- ◇伝統文化と新しい文化活動がコラボレーションした、新たな魅力の創出などの取組が必要です。

### (4) 文化振興の環境整備

#### 【現 状】

- ◇「市民の芸術文化の創造拠点」として新たなホールの整備の検討を進めています。
- ◇文化センターの利用中止により、徳島市内に1,000席規模の公共ホールがない状況が続いています。
- ◇本市の文化施設であるシビックセンターを拠点として、音楽や舞踊、演劇などの文化活動や様々な文化講座が展開されています。
- ◇ガラススタジオでは、独創性のあるガラス工芸品の体験講座などが行われ、ガラス文化の振興に取り組んでいます。

#### 【課 題】

- ◇身近な場所で文化活動が行える環境づくりが必要とされています。
- ◇質の高い文化芸術を、多くの市民が気軽に鑑賞できる場が不足しており、新たなホールの早期開館が待望されています。
- ◇新たなホール完成までの間、文化団体の発表の場の確保や、活動のサポートが必要とされています。

### (5) 文化財の保存と活用

#### 【現 状】

- ◇類型化された文化財の指定・登録を推進しています。
- ◇文化財の保存と活用の基本方針を示した個別計画に基づき、保存と活用を進めています。
- ◇地域の特質を確保し維持するものとして、文化財や歴史文化の価値が再認識されています。

#### 【課 題】

- ◇文化財を単体として保存・活用するのではなく、指定の有無に関わらず、個々の文化財の価値や性質を十分に踏まえ、その環境を含めて総合的に捉えて保存整備・活用する必要があります。
- ◇文化財に対する人々の親しみを深め、社会全体で文化財を保存・活用し、歴史的な文化遺産を活かした取組を行う必要があります。

## 2章 文化振興施策の方向性

### 1 基本理念

社会環境の急速な変化が続く中、本市においても、少子高齢化の進行等により、地域社会における絆づくりや魅力あるまちづくりが重要な課題となっています。

そして、文化は、人々の心に潤いや安らぎを与え、人生に感動と活力をもたらすとともに、地域や社会にも大きな効果をもたらすものと期待されています。

こうしたことから、本市では、文化の持つ力を教育や産業、観光、さらには福祉や地域コミュニティなど様々な分野に活用し、社会参加機会の拡大、地域社会の絆づくり、共生社会の実現へとつなげていく社会包摂（ソーシャルインクルージョン）という概念も視野に入れ、市民一人ひとりが夢を持って、いきいきと輝き、人々を惹きつける魅力的なまちを目指していきます。

以上の基本的な考えに基づき、文化振興を通じて、市民や文化団体、企業、行政等が連携・協力し、ひと・まちが輝きに満ちあふれる都市を目指すため、本ビジョンの基本理念を次のとおり定めます。

**「文化の力で、ひと・まちが輝く とくしま」**

## 2 基本目標

基本理念の実現を目指し、次の2つの基本目標を掲げます。

### 1 ひとが輝く ◇文化芸術の振興◇

優れた文化芸術は、人に深い感動や喜びを与え、暮らしに生きがいや潤いをもたらします。それは、文化活動を通じて人と人が関わりながら自己実現を図る生き方を求められるからとされています。また、多様な表現に接して、人との価値観の違いを知ることで、心に柔軟性が生まれます。そうした文化芸術との出会いにより、人には自由な想像力が生まれ、創造力や行動力の源となります。

また、優れた文化芸術に触れて感動すると、誰かと共感したいという気持ちが生まれ、コミュニケーションが活発になります。集団で芸術作品を創造する活動では、コミュニケーションは不可欠であり、そうしたコミュニケーションを通じて得た人と人との絆は、コミュニティの核としてどんどん広がっていく可能性があります。

優れた文化芸術と出会うこと、新しい文化を創ること、そして、文化を通じて交流することで、いきいきと輝くひとを創ります。

### 2 まちが輝く ◇地域文化の振興◇

地域の文化は、歴史や風土とそこに暮らす人々の営みから育まれてきたものであり、その地域の個性を表すものです。また、地域への誇りや愛着を生み出すものです。その文化を、絶やすことなく後世に伝え広げていくとともに、新たな文化の創造へつなげていくことが重要です。

地域の文化を、教育や福祉、産業など本市の様々な施策に生かすことで、徳島への誇りと愛着や都市の新しい価値・魅力が生まれ、徳島にしかない魅力あるまちづくりにつながる可能性があります。

それを実現するためには、市民一人ひとりが地域の文化を見つめ直し、互いに協力しながら地域の課題に取り組んでいくことが重要であり、市民や文化団体、事業者、NPO等の多様な主体とともにつくりあげていく必要があります。

徳島らしい文化を守り、伝え、発信していくこと、そして、新たな価値や魅力を生み出し、生かしていくことで、きらりと輝くまちを創ります。

### 3 取組の基本的な視点

文化振興の取組を進めていく上で必要とされる基本的な視点を定めます。

#### 1 裾野を広げていくこと（鑑賞者の育成）と頂点をつくること（創造と発信）

これまで鑑賞者の育成機能が弱かったことなどから、鑑賞者を増やし、文化芸術の裾野を広げていくために、アウトリーチ活動などをはじめ身近に鑑賞機会の提供ができる取組を推進します。

また、裾野を広げるためには高みが必要であり、創造活動により伸ばさせていくことも求められており、文化団体等の活動への積極的な支援が必要となります。

さらに、徳島らしい、より魅力的な文化を創造し、発信していくため、芸術文化創造アドバイザーなど外部の専門的人材の視点から、市民の文化創造活動を支援していくことも重要です。

#### 2 教育、福祉、産業、観光などの様々な分野との連携

文化の果たす役割が拡大し、教育や福祉、産業、観光、国際交流など様々な分野でも力を発揮し、社会とのつながりを意識した文化活動がまちづくりの重要な要素となっています。

文化に投資をすることで、教育を豊かにし、高齢者を元気にし、文化を通じた新たな産業を生み出し、経済的発展へとつながることで、心豊かな市民生活及び活力ある地域社会の実現なども期待されています。

また、本市のまちづくり、シティブランドの構築に向けても、文化の振興は大きな意味があることから、市民や文化団体、事業者、行政などの連携により、取組を進める必要があります。

#### 3 人材＝人財の育成と確保

文化芸術を活性化させ、将来にわたり継続していくために、文化活動の担い手としての人材＝人財を育成していくことが求められています。

また、本市が歴史的に培い、蓄えてきた伝統文化を後世に伝えるだけでなく、新たな地域文化として創造し、発信していくための人材の確保が重要となります。

さらに、創造、表現活動をする人々をサポートする非営利活動や、文化ボランティア活動の多様な担い手を育成していくことが必要です。そのため、各分野において専門的な視点を持って、市民の文化活動を支援していくための専門的人材の育成が重要とされています。

## 4 取組方針

基本目標の達成に向けて、取組方針を定め、施策の方向性を示します。

### 1 徳島らしい文化の継承・発信と新たな文化の創造

阿波おどりや人形浄瑠璃など全国的に有名な伝統芸能はもちろん、とくしま市民遺産に代表される本市の歴史や風土に育まれた特色ある行事、魅力ある建造物・景観、食文化など、徳島ならではの文化を貴重な財産として次世代へと継承し、発信していくことが重要です。

また、これらの文化資源をそのまま受け継ぎ伝えるだけでなく、新たな価値を見だし、異なる分野の文化や新たな要素とのコラボレーションにより、徳島にふさわしい新たな文化の創造につなげていくことも必要です。

さらに、2020年に開催予定の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に併せて計画されている文化プログラムは、徳島の歴史と風土に育まれた多彩で個性的な文化や他都市にはない魅力を加えた、新たな文化を国内外に発信するチャンスであり、市民、文化団体等が一体となって取り組むことにより、徳島の文化に対する誇りや愛着を持つ心を育み、さらには、観光、教育など様々な分野にも大きな効果が期待できます。東京大会に向けて、徳島ならではの文化の創造や発信に取り組むとともに、これらの文化プログラムを契機として、東京大会以降も文化的発信を継続できる取組を進めていきます。

#### 主な取組

- ・ 伝統文化の継承と発信
- ・ 徳島らしい新たな文化の創造
- ・ 文化資源、文化芸術の継承と活用
- ・ 産業、観光振興との連携
- ・ 学校等と連携した文化プログラムの実施

#### 事業例

- ・ とくしま市民遺産の充実、情報発信と活用
- ・ ガラススタジオによるガラス工芸事業
- ・ 阿波おどりや人形浄瑠璃、阿波藍など伝統文化の振興
- ・ LEDやアニメーションを活用したアートイベント
- ・ 学校等へのアウトリーチ活動

## 2 文化活動の充実と支援

市民一人ひとりの個性や感性を生かした多彩な分野での文化活動やNPO、ボランティア、各種サークル活動など市民活動が活発化しています。

また、子どもから高齢者まで幅広い世代の市民が生涯にわたって文化を享受し、文化活動に参加することを通じて生活に生きがいや安らぎを見いだすことは、これからの地域社会において必要不可欠です。

市民の多様なニーズに対応するため、地域のアーティストや文化団体の自主的な活動を支援し、活動機会や成果発表の機会の充実を図るとともに、質の高い文化芸術に触れる機会を提供し、鑑賞や参加機会の充実に取り組みます。

<b>主な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・文化芸術の鑑賞機会の充実</li><li>・文化芸術の参加機会と発表機会の充実</li><li>・文化活動への支援体制の充実</li><li>・学校等と連携した文化プログラムの実施</li><li>・地域のアーティストや文化団体等との協働</li></ul>
-------------	--

<b>事業例</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・徳島市芸術祭</li><li>・コンサートや展覧会の開催支援</li><li>・学校等へのアウトリーチ活動</li><li>・市民ボランティア、市民グループ養成講座等</li><li>・市民グループが企画する公演</li></ul>
------------	---

## 3 文化活動の担い手の育成

子どもの頃から、優れた文化芸術に触れることにより、豊かな感性や創造性、コミュニケーション能力を育み、将来の文化活動を担う人材を育成していくことが必要です。

こうしたことから、地域のアーティストや文化団体、NPO等との連携や芸術文化創造アドバイザーなど専門家の協力により、次世代を担う子どもたちへの伝統文化をはじめ質の高い文化芸術に触れる機会の拡大や、誰もが気軽に文化活動に参加できるきっかけづくりなど、文化活動の担い手の育成に取り組みます。

また、文化を振興する上で、文化芸術の創造・表現者はもちろん、企画や舞台技術などの専門性の高い人材や、文化芸術を支える幅広い担い手の育成や確保にも取り組みます。

<b>主な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代を担う人材の育成</li> <li>・市民参加型事業の充実</li> <li>・子ども向け、初心者向けの文化体験事業の実施</li> <li>・芸術文化創造アドバイザーや専門的人材の活用</li> <li>・スキルアップの機会の提供・活動支援</li> </ul>
-------------	---

<b>事業例</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども文化フェスティバル</li> <li>・ジュニアのためのオーケストラ合同演奏会</li> <li>・学校等へのアウトリーチ活動</li> <li>・市民ボランティア、市民グループ養成講座等</li> <li>・市民グループが企画する公演</li> </ul>
------------	--

#### 4 文化による交流促進

様々な文化との出会いや交流は、新鮮な刺激となり、それぞれの文化活動を活性化させ、新たな文化の創造へとつながります。

また、世代やジャンル、地域、国籍、民族などの垣根を超えた文化交流を促進することで、人と人のつながりが深まり、さらに人と人との関わり方がより多岐多様になる中で、互いの価値を認め合い、信頼関係が築かれていきます。

そのため、徳島県の県都として、県や周辺市町村、さらには国内外の姉妹・友好都市とも連携し、異文化、世代間、地域間の文化交流の核となり、ネットワークづくりに取り組みます。

<b>主な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民・文化団体の交流と連携</li> <li>・地元大学や民間等との連携</li> <li>・国内外を含めた世代間・地域間の交流と連携</li> <li>・文化交流のネットワークづくり</li> </ul>
-------------	---

<b>事業例</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島市芸術祭</li> <li>・子ども文化フェスティバル</li> <li>・ジュニアのためのオーケストラ合同演奏会</li> <li>・地元大学や民間等との連携協定を活用した文化事業</li> <li>・文化を通じた姉妹・友好都市交流の推進</li> </ul>
------------	---



## 5 文化振興の環境づくり

徳島市らしい文化活動の振興を図るため、「市民の芸術文化の創造拠点」となる新たなホールの整備をはじめ、市民に文化に出会う機会の提供や市民の文化活動を支援する環境づくりに取り組みます。

新たなホールは、市民が文化を享受する場としてだけでなく、活発に文化活動を行う中心的な場として活用することで、本市の文化の発展を促進することが期待されます。また、これまで市民が培ってきた伝統ある文化活動をさらに活性化させるとともに、文化を通じた交流の促進やネットワークの構築により、新たな文化を創造する場となることを目指します。

また、ICT（情報通信技術）の進展により、個人の生活や人と人のつながり、経済、社会など様々な分野の多様な情報を、個人がインターネットを通して簡単に手に入れ、国内だけでなく海外へも情報を発信できる状況です。そのため、多様な情報媒体を活用し、文化情報の収集や発信に努めていきます。

### 主な取組

- ・文化に出会う場の創出と創造拠点の整備
- ・国内外の文化情報の調査研究、収集と提供
- ・施設の利用促進
- ・文化に関する情報ネットワークの整備

### 事業例

- ・新たなホールの整備
- ・シビックセンター、ガラススタジオの管理運営
- ・近隣文化施設等との連携による文化情報の共有
- ・インターネット等を活用した文化情報の発信

## 6 文化財の保存と活用

長い歴史の中で生まれ、培われてきた文化財は、地域への愛着や郷土意識を生み出す重要な地域の財産です。

国や県、市により指定された文化財の保存・整備を進めるとともに、市民への見学会や研修会の開催により文化財への理解を深めます。

また、地域の歴史や文化を特徴づける複数のテーマやストーリーを設定し、文化財としての本質的な価値を尊重した上で、まちづくり関連施策との整合を図りながら保存整備・活用に取り組みます。

**主な取組**

- ・文化財の保存・活用の推進
- ・歴史文化遺産を活かしたまちづくりの推進

**事業例**

- ・史跡・重要文化財の保存・整備
- ・文化財の見学会、研修会
- ・地域住民による文化財保存活用体制づくりへの支援
- ・徳島城博物館を中心とした教育普及活動、資料展示、調査研究等

## 3章 推進体制等

### 1 推進体制

文化活動は、市民をはじめ文化団体、NPO、教育機関、企業など多様な担い手によって支えられています。各主体が、それぞれの役割や特長について相互理解を深めることで、協働によるビジョンの推進を図っていきます。

そのためには、本ビジョンで示した施策の方向性に基づき、文化振興を総合的に推進する体制を確立することが求められています。

目標の達成に向け、市民を文化振興の主役として、文化団体、NPO、企業や大学等の教育機関などと連携して、多彩な文化活動を展開する体制を整備します。

本市としても、教育、福祉、産業、観光、まちづくりなど様々な市の施策に、文化振興の活用を図るために、庁内関係部局との連携により、横断的な取組を進めていきます。

また、芸術文化創造アドバイザーなど専門分野の外部人材を活用し、より効果的な事業の推進を図ります。

### 2 進行管理（評価）

文化振興施策の評価にあたっては、事業への参加者数や施設の利用状況など定量的な指標によるものと、公益性の高い事業や公共施設の運営などについての、市民の満足度などの成果指標による評価が考えられます。

このため、文化振興ビジョンの進行管理においては、推進状況の検証を行うとともに、各事業等の目的を明らかにした上で、アンケートやワークショップ、市民会議など、市民の声を取り入れながら多角的に事業を評価できるように取り組んでいきます。

また、評価結果に基づき、事業内容の改善等を適切に図っていきます。



## 参考資料

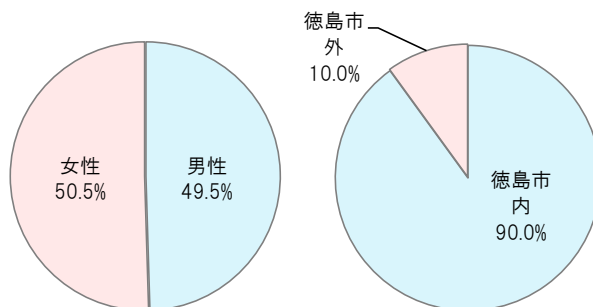
### 徳島市インターネットアンケート調査結果「徳島市の文化について」

調査期間	平成28年12月26日～平成29年1月9日
回答者数	210人

※割合(%)は小数点第2位以下四捨五入のため、割合の合計が100%にならない場合があります。

#### ◆性別

	選択肢	回答数	割合
1	男性	104	49.5%
2	女性	106	50.5%

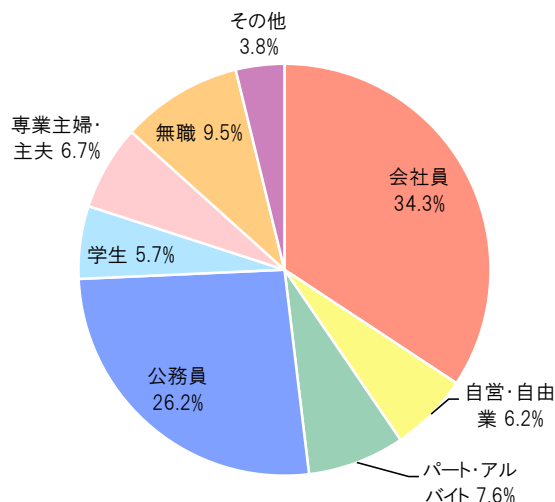


#### ◆住所

	選択肢	回答数	割合
1	徳島市内	189	90.0%
2	徳島市外	21	10.0%

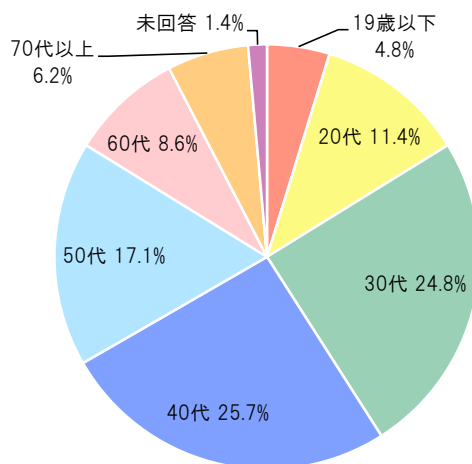
#### ◆職業

	選択肢	回答数	割合
1	会社員	72	34.3%
2	自営・自由業	13	6.2%
3	パート・アルバイト	16	7.6%
4	公務員	55	26.2%
5	学生	12	5.7%
6	専業主婦・主夫	14	6.7%
7	無職	20	9.5%
8	その他	8	3.8%



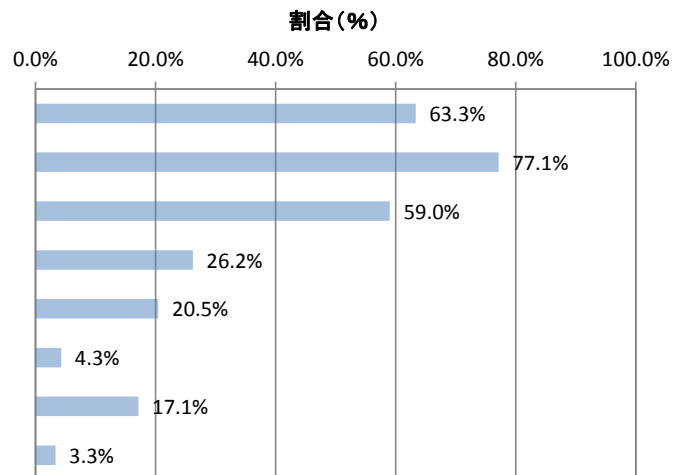
#### ◆年齢

	選択肢	回答数	割合
1	19歳以下	10	4.8%
2	20歳代	24	11.4%
3	30歳代	52	24.8%
4	40歳代	54	25.7%
5	50歳代	36	17.1%
6	60歳代	18	8.6%
7	70歳代以上	13	6.2%
8	未回答	3	1.4%



問1 あなたは文化という言葉からどのようなイメージを抱きますか  
(複数回答可)。

選択肢	回答数	割合
1 音楽、演劇、美術などの芸術	133	63.3%
2 伝統的なお祭りや行事、芸能など	162	77.1%
3 歴史的な建造物や文化財など	124	59.0%
4 潤いのある街並みや景観	55	26.2%
5 生活の中から生まれた知恵や工夫	43	20.5%
6 発達した科学や技術	9	4.3%
7 新しいものの創造	36	17.1%
8 その他	7	3.3%
合計	569	-

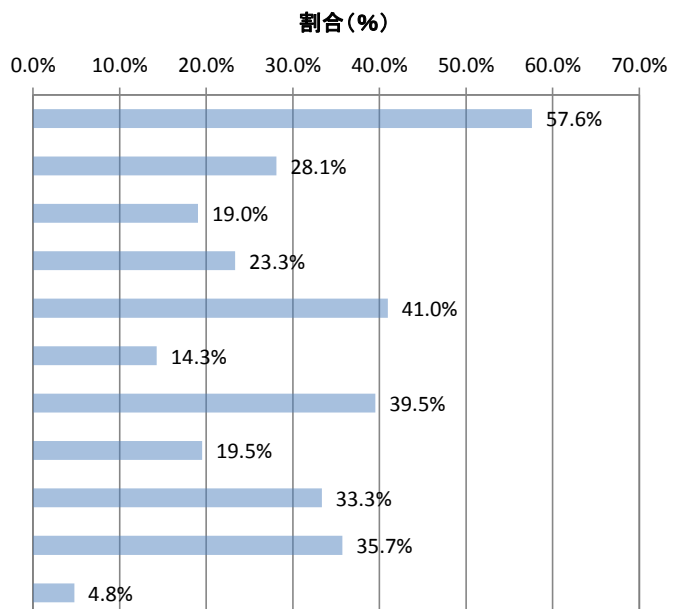


問2 問1で「その他」と回答された人は、具体的な内容をお聞かせください。

若者の間で流行っている文化をイメージします。SNSを通して新しいファッションを発信するなど。
ヒトが創造したものはすべて文化だし、生活そのものも文化だと思う。
庶民生活の息遣いを感じる家並みと暮らしの習慣
誇り高い教育こそが文化を生み、育む。
動物園、植物園、水族館なども市民の文化となる。親子、年齢幅広く関わるものである。
生き物や自然への関わり
文化＝おカネ(コスト)や合理性に対極したムダそのもの

問3 あなたが興味を持っている文化の分野は何ですか  
(複数回答可)。

選択肢	回答数	割合
1 音楽(クラシック、邦楽、ポピュラーなど)	121	57.6%
2 演劇(ミュージカル・オペラを含む)	59	28.1%
3 舞踊(日本舞踊、バレエ、ダンスなど)	40	19.0%
4 伝統芸能(能、狂言、歌舞伎など)	49	23.3%
5 地域の伝統芸能(阿波おどり、人形浄瑠璃など)	86	41.0%
6 文芸(詩、俳句、短歌、文学など)	30	14.3%
7 美術(絵画、彫刻、陶芸、写真など)	83	39.5%
8 生活文化(華道、茶道、書道など)	41	19.5%
9 メディア芸術(映画、アニメーション、CGなど)	70	33.3%
10 歴史的な建造物・文化財など	75	35.7%
11 その他	10	4.8%
合計	664	-

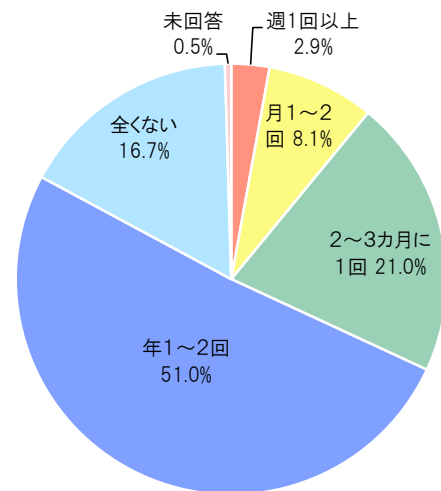


問4 問3で「その他」と回答された人は、具体的な内容をお聞かせください。

地域の祭り
地域に根付いた食文化(そば米汁など)
民俗学
香道
デザイン、建築
相撲
釣り
動物園、植物園、水族館など自然を人工化して楽しみ学べる施設など
脈々と流れる日本人の礼儀、義理と人情を併せ持った真意
自動車などの産業製品のデザインの変遷なども文化だと思し、過去の産業製品のポスターデザインなども見ていて面白い。その時代の時代背景も楽しめる。

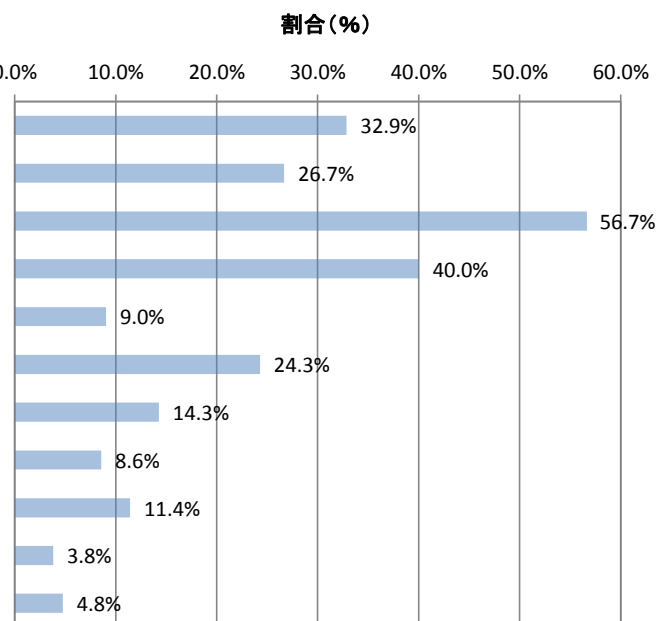
問5 あなたは文化や芸術に関する公演や展覧会などをどの程度鑑賞していますか。

選択肢	回答数	割合
1 週に1回以上	6	2.9%
2 1カ月に1回から2回程度	17	8.1%
3 2カ月から3カ月に1回程度	44	21.0%
4 年に1回から2回程度	107	51.0%
5 全くない	35	16.7%
6 未回答	1	0.5%



問6 公演や展覧会などを鑑賞する時に困ることは何ですか。また、鑑賞していない理由がある場合、それは何ですか(複数回答可)。

選択肢	回答数	割合
1 時間的な余裕がない	69	32.9%
2 入場料や入館料が高い	56	26.7%
3 鑑賞したい公演や展覧会などが少ない	119	56.7%
4 会場までの距離が遠い、交通の便が悪い	84	40.0%
5 託児施設やバリアフリー施設などが整備されていない	19	9.0%
6 公演や展覧会などに関する情報が十分でない	51	24.3%
7 チケットが入手しにくい	30	14.3%
8 一緒に楽しむ仲間がいない	18	8.6%
9 テレビ、ラジオ、CD、DVD、インターネットなどで鑑賞している	24	11.4%
10 文化や芸術に関心がない	8	3.8%
11 その他	10	4.8%
合計	488	-

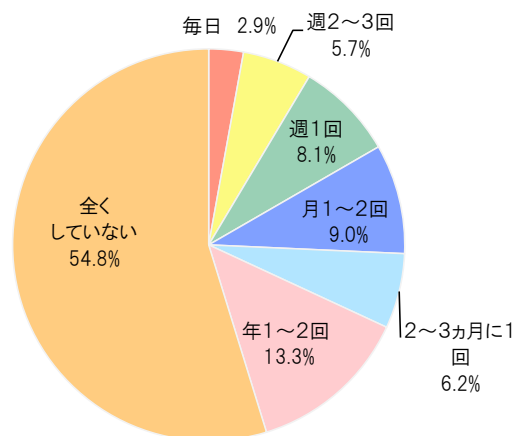


問7 問6で「その他」と回答された人は、具体的な内容をお聞かせください。

市内にホール施設がない。
文化センターの後継施設を早急に建設し、公演や発表会などの使い易い施設を提供すべきである。
舞台やミュージカルなどは徳島にめったに来ないので、主に大阪、神戸、東京まで観劇に行っているため、費用がかさみます。
市中心部では無料の駐車場がないため、利用しづらい。
車でないと行けないのに、駐車場代がかかる上、有料だと高く感じて二の足を踏む。
スペース、音響、照明などの舞台設備の未熟さやスタッフの対応が十分でないと思います。
知りたい情報が得られにくい。
4kテレビや8kテレビにDolbyAtmosなどの環境を整えてやれば自宅で十二分に楽しめる。
徳島は聴衆の方のマナーが悪いと思います。講演会や映画会や演劇などの最後に、まだ終わっていないのに座席を立つ人が多く、演者の方に失礼と思います。こういうマナーを浸透させるのも、文化と思っています。

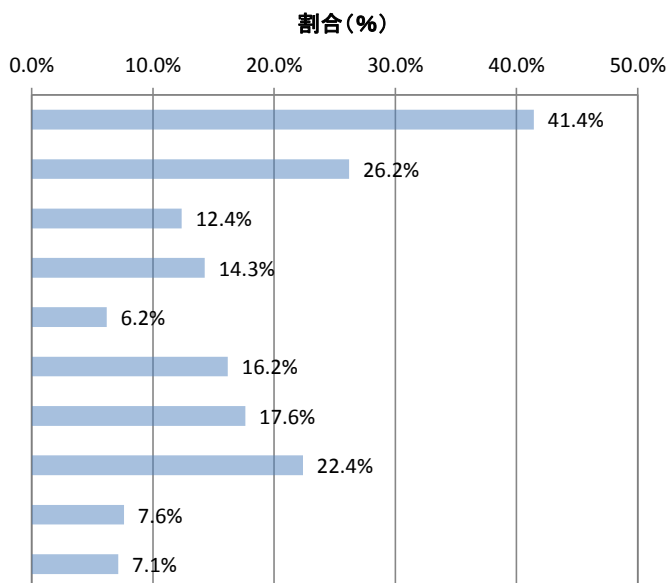
問8 あなたは演奏や創作活動など文化や芸術に関する活動をどの程度行っていますか。

選択肢	回答数	割合
1 ほぼ毎日	6	2.9%
2 週に2回から3回程度	12	5.7%
3 週に1回程度	17	8.1%
4 1カ月に1回から2回程度	19	9.0%
5 2カ月から3カ月に1回程度	13	6.2%
6 年に1回から2回程度	28	13.3%
7 全くしていない	115	54.8%



問9 文化や芸術に関する活動を行う時に困ることは何ですか。また、活動していない理由がある場合、それは何ですか(複数回答可)。

選択肢	回答数	割合
1 時間的な余裕がない	87	41.4%
2 活動に費用がかかる	55	26.2%
3 助言や指導をしてくれる人がいない	26	12.4%
4 練習や発表をする適当な施設がない	30	14.3%
5 託児施設やバリアフリー施設などが整備されていない	13	6.2%
6 活動団体や練習内容などに関する情報が十分でない	34	16.2%
7 一緒に参加、活動する仲間がいない	37	17.6%
8 文化や芸術以外の趣味や活動をしている	47	22.4%
9 文化や芸術に関心がない	16	7.6%
10 その他	15	7.1%
合計	360	-



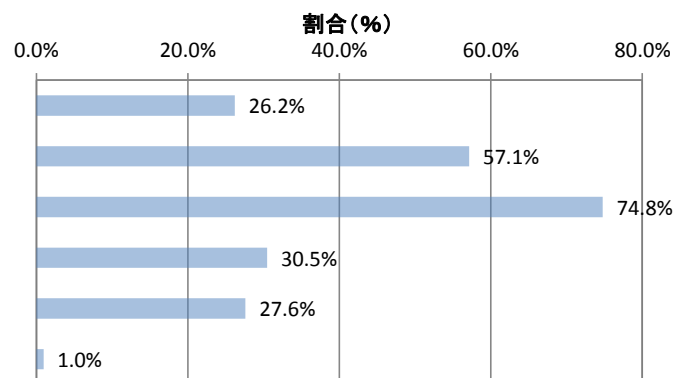


問10 問9で「その他」と回答された人は、具体的な内容をお聞かせください。

開催される時間が平日昼間に多く偏っている。
そのスキルがない。
カルチャースクールのような気軽なもの比べて、文化・芸術という敷居が高い気がして、近づきにくい です。それに活動している方は何十年も活動していたり、専門家だったりで参加しても居場所がなく息苦 しそう。
自分から発信することが苦手であるため。
マナーの悪い人たちによって、十分に楽しめない。
年齢的に無理がある。
やろうとは思わない。

問11 あなたが文化や芸術に関する情報を入手する主な手段は何ですか(複数回答可)。

選択肢	回答数	割合
1 広報紙	55	26.2%
2 新聞、テレビ、ラジオ	120	57.1%
3 インターネット	157	74.8%
4 情報誌、チラシ	64	30.5%
5 友人、知人から	58	27.6%
6 その他	2	1.0%
合計	456	-

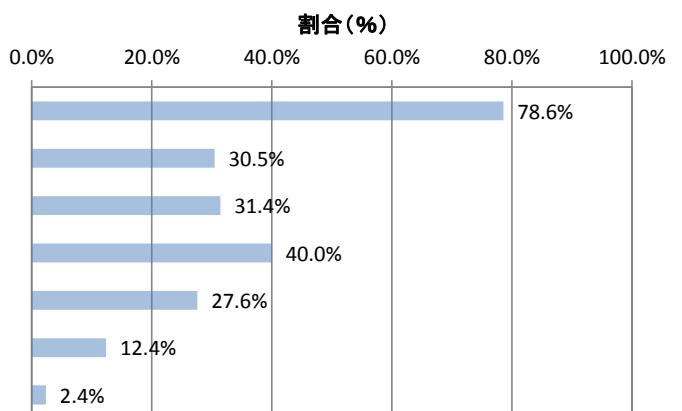


問12 問11で「その他」と回答された人は、具体的な内容をお聞かせください。

メール・アプリ
図書館の利用

問13 文化や芸術に関するどのような情報があれば良いと思いますか(複数回答可)。

選択肢	回答数	割合
1 公演や展覧会などに関する情報	165	78.6%
2 活動団体や練習内容などに関する情報	64	30.5%
3 施設に関する情報	66	31.4%
4 文化や芸術に関する講座や学習会の情報	84	40.0%
5 地域の伝統行事、歴史などに関する情報	58	27.6%
6 指導者に関する情報	26	12.4%
7 その他	5	2.4%
合計	468	-

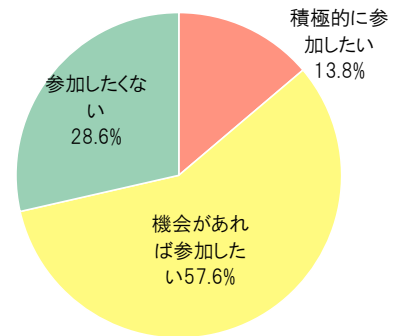


問14 問13で「その他」と回答された人は、具体的な内容をお聞かせください。

専用情報サイトの創設や拠点づくりを図ってほしい。
公募の情報
市民が呼んでほしいと希望する公演についてのアンケートといった機会を設けてほしい。
施設に関する情報に関し、特に徳島市のような地方都市車社会の場合、駐車場情報(料金、台数など)をマストインフォメーションにしてくださいと助かる。
せっかく徳島に住んでいるので藍染を広めたいと思ったことがあります。藍染を広める術がなく困っている。

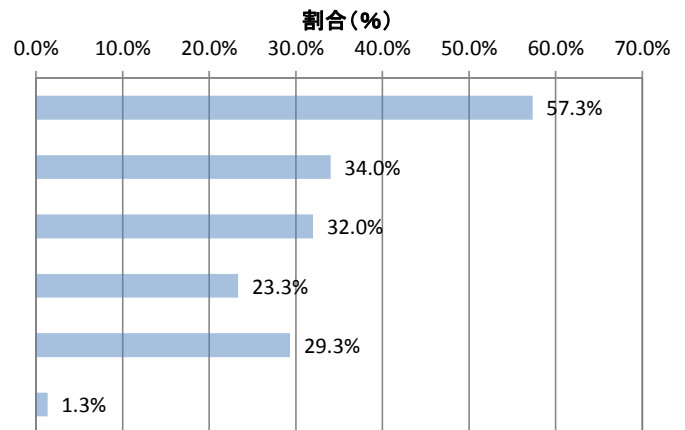
問15 あなたは文化や芸術に関するボランティア活動(企画や運営など)に参加したいと思いますか。

選択肢	回答数	割合
1 積極的に参加したい	29	13.8%
2 機会があれば参加したい	121	57.6%
3 参加したくない	60	28.6%



問16 問15で「積極的に参加したい」または「機会があれば参加したい」を選択した人にお聞きします。文化や芸術に関するどのようなボランティア活動に参加してみたいと思いますか(複数回答可)。

選択肢	回答数	割合
1 文化や芸術のイベントの企画・運営に関する活動	86	57.3%
2 文化団体、文化施設の活動を支援する活動	51	34.0%
3 文化や芸術のすばらしさを多くの人に知ってもらう普及・啓発活動	48	32.0%
4 自分のもつ技能、知識などを生かして文化や芸術を教えたり、広めたりする活動	35	23.3%
5 地域の文化や芸術を広め、次世代に継承していく活動	44	29.3%
6 その他	2	1.3%
合計	266	-

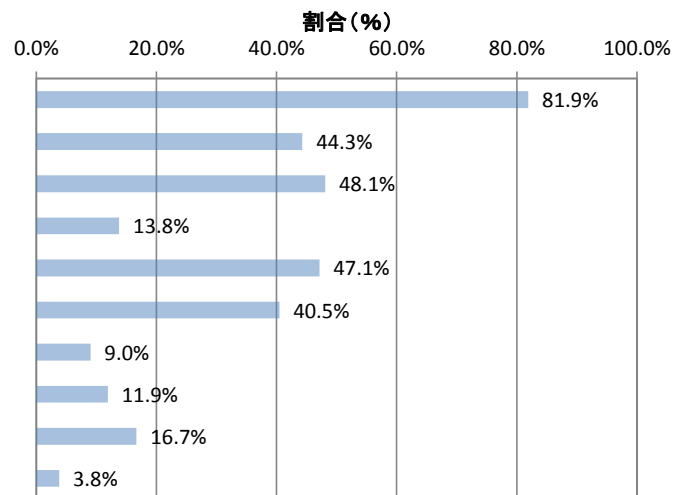


問17 問16で「その他」と回答された人は、具体的な内容をお聞かせください。

食文化の発掘や日本の伝統的文化など、新たな人材育成や講師バンクで人材確保を図る。
文化かどうか分からないが、清掃活動としてビーチクリーン活動など

問18 徳島市の魅力ある文化はどのようなものだと思いますか。

選択肢	回答数	割合
1 阿波おどり	172	81.9%
2 人形浄瑠璃	93	44.3%
3 伝統工芸(藍染め、阿波しじら織など)	101	48.1%
4 音楽(邦楽、ジャズなど)	29	13.8%
5 LEDによる新たな文化(アート作品、景観など)	99	47.1%
6 食文化(徳島ラーメン、そば米汁など)	85	40.5%
7 ガラス工芸	19	9.0%
8 民話・伝説	25	11.9%
9 歴史的な建造物・文化財など	35	16.7%
10 その他	8	3.8%
合計	666	-

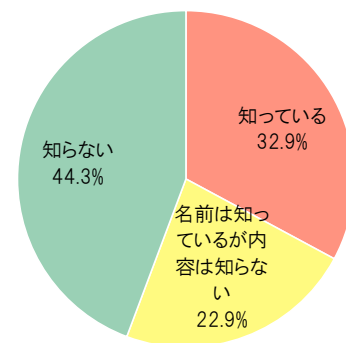


問19 問18で「その他」と回答された人は、具体的な内容をお聞かせください。

日本伝統文化の伝承
陶芸、木工工芸
眉山を中心とした生活環境と今日までの歴史
マチアソビなどのサブカルチャー
既存のものではない文化
個人的に小松ビーチのサンセットタイムは魅力がある。長年東京で暮らし、仕事関係で徳島市にUターンしたが、京阪神に向けもっと積極的にアピールできる自然文化ツールだと思われる。
糖尿病も一種の文化かな・・・

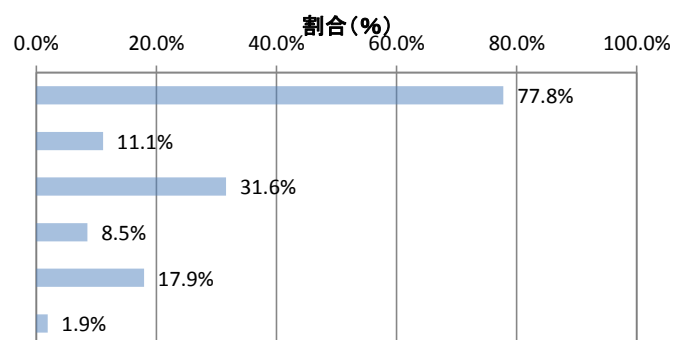
問20 あなたは「とくしま市民遺産」をご存じですか。

選択肢	回答数	割合
1 名前も内容も知っている	69	32.9%
2 名前は知っているが内容は知らない	48	22.9%
3 名前も内容も知らない	93	44.3%



問21 問20で「名前も内容も知っている」または「名前は知っているが内容は知らない」を選択した人にお聞きします。とくしま市民遺産に関する情報を、どのようなところで入手しましたか(複数回答可)。

選択肢	回答数	割合
1 広報紙や市ホームページなど、徳島市が発信する情報	91	77.8%
2 新聞、テレビ、ラジオ	13	11.1%
3 インターネット	37	31.6%
4 情報誌、チラシ	10	8.5%
5 友人・知人から	21	17.9%
6 その他	4	1.9%
合計	176	-

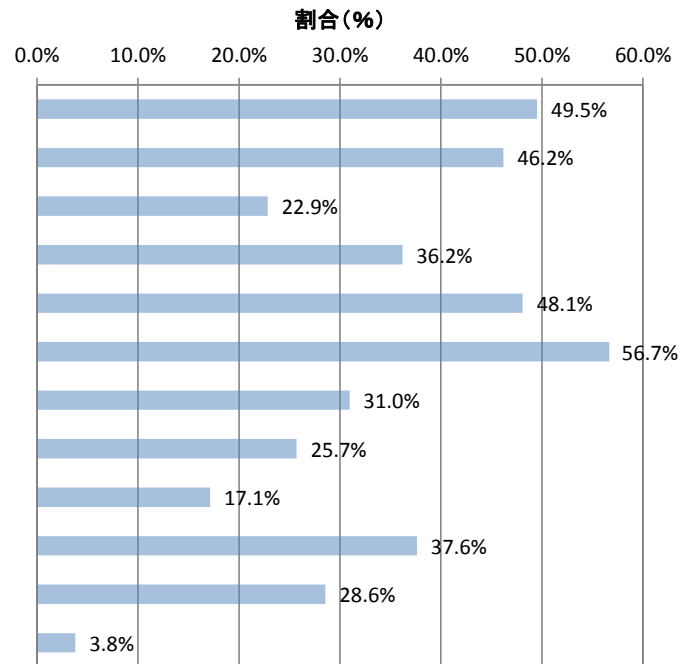


問22 問21で「その他」と回答された人は、具体的な内容をお聞かせください。

観光ボランティア活動をしているため。
業務上で偶然に携わる機会があったため。
図書館(他1件)

問23 徳島市の文化を振興するためにどのようなことが大切だと思いますか(複数回答可)。

選択肢	回答数	割合
1 質の高い公演や展覧会などの実施	104	49.5%
2 ホール整備などの文化施設の充実	97	46.2%
3 文化活動に対する資金的支援	48	22.9%
4 文化活動のリーダーや次世代を担う人材の育成	76	36.2%
5 市民が文化や芸術に親しむ機会の拡大	101	48.1%
6 子どもたちが文化や芸術に触れる機会の充実	119	56.7%
7 文化や芸術を通じた交流の促進や情報の発信	65	31.0%
8 伝統芸能や文化財などの保存・継承	54	25.7%
9 新しい文化や芸術の掘り起こしと活用	36	17.1%
10 観光分野などと連携したイベントの開催	79	37.6%
11 文化的な雰囲気を持つまちづくり	60	28.6%
12 その他	8	3.8%
合計	847	-



問24 問23で「その他」と回答された人は、具体的な内容をお聞かせください。

若い世代と文化を継承する世代とをつなぐ取り組み。誰もが気軽に参加できる仕掛け。
子どもたちだけでなく大人も楽しみたい。
文化教育
かつて政府が行なった事業仕分けと同じで、数年経過してから初めて「ことの重大さ」がわかるだろうと感じ、将来の徳島市を憂います。なくなって初めて気付く大切さを「気付ける」教育や意識改革を望みます。
徳島でサブカルを感じられる場所は少ないです。ポッポ街にアニメ漫画ゲームフィギュアのショップを集めてサブカルストリートにすれば面白いと思います。
徳島市が税金を使って箱モノ建設などの振興などしなくても良いと思う。文化の創造というのは趣味でやるような事で、趣向性がとても強い。
自然や生き物と交流して学んだり芸術に取り入れる。動物園で徳島の物産品や工芸品や食べ物を売る。木工品をベンチや動物の遊具として取り入れる。自然科学を学ぶ講演会や環境保護イベントを開催するなど。
石井町の相撲大会を観ました。子どもたちの集まる場所には大勢の人が集まりにぎやかで楽しい雰囲気がありました。

問25 徳島市の文化振興についてのご意見をお聞かせください。

ホールができない間は、イベントをたくさんしてほしい。
ホールじゃなくてアリーナ(最低15,000人以上)の様な大規模なイベントやコンサートができる会場造りがいいと思います。
伝統といった旧来のものから抜け出してみると、市民は興味を示しやすいかと思います。
古代のロマンある歴史の情報が埋もれている。
アンケートの間6、間9の選択項目にホール施設がないことが徳島市の文化振興の課題じゃないでしょうか。
アーティストが来てくれるホールがほしい。鳴門市文化会館には来ているのに…。徳島市には来ない。
早期拠点づくりを図ってほしい。
まずはホールの整備。
四国の他の3県に比べると、情報発信が弱すぎです。
徳島市に豪華な音楽ホールは不要だと思います。身の丈に応じた施設を。
県内外の方にも来ていただけるような周知方法が必要だと思います。
早く音楽ホールを整備してほしい。音楽ホールは公共交通の便が良い場所に建設してほしい。
これからも積極的に参加したい。
ジャパンプルーで藍染が注目されているのに徳島に住んでいるだけでは藍染を伝える術がなさ過ぎて困っている。
神戸や大阪に日帰りできるので、特に徳島市内に文化施設等の必要性は感じない。
LEDアートフェスに今年初めて参加したが、非常に感動した、三年に一度とは、言わず毎年やって頂きたい。
公演の場所と機会が少ないと思います。小さいころから触れさせたいと思うミュージカルや演奏会など全くしていないと思います。
他県に比べて情報発信や宣伝力が弱いと思います。他県からこられた方からもよく指摘されます。市だけでなく県全体で長期・短期の計画を立て、取り組むことが重要だと思います。
西新町再開発や文化センター解体などのハード面の議論は盛んに見えるが、その他はどうか。LEDフェスなどは徳島らしくて良かったと思う。市には「徳島ならではの」施策を打ってほしい。
文化は多種多様であり、一つに決めつけられない方がよいと思います。個々人の活動の総和が徳島市の「文化」として表れてくると思います。
早くホールを建ててください。でも、県外から鑑賞者が来るだけのホールは建てないでください。大ホールだけでは街の活性化につながりません。無駄遣いです。
文化とはなにか？大人へは、話し合う小さなコミュニティーを作ることが必要。子どもへは、学校教育の中に盛り込み、将来徳島に定住、あるいは県外に行っても帰ってくる人格形成を行う。
観光と連携した取り組みに、より財源を集約し、市民・県民・観光客が喜んで参加できるような事業を官民で、頭を絞って取り組むべきであると考えます。特に審議会などのメンバーには市民目線の人材も活用すべきだと思います。
県外や海外から人が来たときに、体験できる施設があまり思い付かないのが残念。自分がもっと地域のことを知っておく必要があると感じた。
学生のころ楽器演奏をしており、新しい音楽芸術ホールで演奏することを夢見ていましたが、いまだホールができず、寂しい気持ちです。

<p>イベントの開催できるホールが少なすぎる。早く西新町に新しいホールをつくり、さらに規模の違う施設を1、2つ作ってもらいたい。そして公演やイベントなどをたくさん開催してもらいたい。</p>
<p>遺産や祭の掘り起こしは観光誘致に繋がりにくい。海外発信を前提にしたストーリー性を持たせた特殊アイテムが必要。イベントは数でなく今年のLEDアートフェスを拡大するなど絞り込み、他人に発信したい文化を創ること。</p>
<p>徳島市はイベントが沢山あり、住んで楽しく子育てしやすい町だと思ってます。でも、大きな文化ホールが無い現状はガッカリです。鳴門まで小さい子どもを連れていくのも大変なので、文化ホールができることを願っています。</p>
<p>現在、徳島市には音楽・芸術ホールがなく、クラシック音楽などを聴く機会がない。当面、徳島文理大学の「むらさきホール」などの音響効果のよいホールを借用して公演を開催してもらいたい。</p>
<p>子どもが参加しやすいイベントが多くあればよいと思う。託児付きのイベントとか、親も参加できるなど、いろいろな人に配慮したイベントがあれば、いろいろな内容の催しに参加する人は多いと思う。</p>
<p>香川県の宇多津町に2019年に水族館ができるそうだ。四国最大の水族館になるという。その建設費の初期費用が「60億円」という記事があった。徳島市でも「水族館」を作ってはどうか。</p>
<p>市民向けの発信ではなく、伝えたい相手をもっと大きな視野で捉えた企画にしてほしい。</p>
<p>市内外の人にアピールできる場があっても、今はまったくアピールできてないので、勿体無いと思う。ひとつの縦割りの部以外にも複合的に考えて行けば、まだまだ徳島の文化が豊かになると思います。</p>
<p>有名人の作品展・演奏会は、近隣都市に観光ついでに行くものだと思っています。なので、大都市と同様の事をしようとするのではなく、身の丈にあった文化振興(具体的には思いつかないのですが)を行えばよいのでは。</p>
<p>文化は若者が作るものなので、若者が興味あるメディア芸術に注力するべきだと思います。徳島駅付近にマンガ専門図書館や公営マンガ喫茶を作ると駅前に若者が増え一石二鳥だと思います。</p>
<p>市の文化センターがなくなった今こそ徳島市の文化振興のためにホールや施設の整備や活用を見直す時期だと思います。遠藤市長さんならそのきっかけづくりができる方だと思っています。ぜひお願いします。</p>
<p>子どもたちの徳島離れを防ぐ為にも、もっと積極的に子どもたちにも伝統文化を伝えればよいと思います。人形浄瑠璃、襖からくり、藍染めなど。有名人や偉人の講演会なども。</p>
<p>文化は本来市民生活の中から生まれてくるものだと理解しています。決して押し付けでない自然な姿を大切に見つけて育ててほしいと思います。</p>
<p>徳島県も徳島市も文化にお金をかけていないと感じます。あわぎんホールは小さいし、音も悪いです。文化センターの音も悪いです。「安かろう悪かろう」なホールは、税金の無駄遣いです。</p>
<p>音楽芸術ホールは絶対必要です。学校のエアコンも理解できますが、市内で子どものピアノ発表会などが出来る小さなホールや小さい子どもがいる人が気軽に観賞や練習ができるホールにしてほしいです。</p>
<p>大ホールばかり議論しているが、日ごろ、練習できる場所を早く作ってほしい。また、最近のホールにはリハーサル室があるのが当然です。よろしくお願いします。</p>
<p>文化は行政が主導して作るものではない。なんでもかんでも文化というキーワードがつけば、行政が関わるのではなく、特に重点を置く分野を絞って振興策(支援)を進めるべき。</p>
<p>各市町村の観光財政では他県の観光施策に及ばないと思われます。なので、市町村が連携を取り、「徳島県」で観光推進に取り組むことが必要だと思います。知ったような事を言っすいません。</p>
<p>いろいろな楽器を体験できるワークショップなど老若男女を問わず、音楽・芸術へのきっかけを作る機会を増やしてほしい。</p>
<p>西新町の再開発がピックアップされてしまうのは仕方がないと思います。スポーツや文化が根付くには長い期間が必要だと思いますので、継続した取り組みを求めます。</p>
<p>徳島駅の近くに2,000人ぐらい入れるホールを作ってください。本物でずっと遺産として残るようなものをお願いします。</p>
<p>徳島市はLEDアートフェスを経済部が所管。作品創作～発表は芸術活動だ。イベントのノウハウなど、経済部実施は疑問。観光目的あり複数部局にまたがることは、企画部局が中心として推進すべきである。</p>
<p>芸術に興味がある人のうち、時間的・金銭的余裕がある人しか徳島市の中心市街地にホールがないことの深刻さがわからないと思います。よくわかってない人が目につくものだけを安易に反対することに危機感を感じます。</p>

## 徳島市文化振興ビジョン策定のための市民会議設置要綱

(設置)

第1条 この要綱は、徳島市の文化施策の指針となる徳島市文化振興ビジョン（以下「ビジョン」という。）の策定にあたり、幅広く市民の意見を求めるため、徳島市文化振興ビジョン策定のための市民会議（以下「市民会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 市民会議は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 本市の文化行政における現状と課題の整理に関すること
- (2) ビジョンの策定に関すること
- (3) その他市民会議の目的を達成するため必要なこと

(組織)

第3条 市民会議は、委員10人以内（以下「委員」とする。）をもって組織する。

2 委員は次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 各種団体代表者等
- (3) 公募市民

(会長及び副会長)

第4条 市民会議に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選によって定める。
- 3 副会長は、委員の内から会長が指名する。
- 4 会長は、市民会議を代表し、会務を統括する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 市民会議は、会長が招集し、会議の議長となる。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の関係者の出席を求め、関係事項について説明又は意見を聞くことができる。
- 3 会議において、円滑な議論を促進し、市民会議の設置目的を効率的に達するため、委員とは別にアドバイザーを置くことができる。なお、アドバイザーは、専門的な知識を有する者の中から市が指名する。

(解散)

第6条 市民会議は、その任務が達成されたときに解散する。

(事務局)

第7条 市民会議の事務局は、市民環境部文化振興課に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、市民会議の運営等に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年7月15日から施行する。

## 徳島市文化振興ビジョン策定のための市民会議委員名簿

氏 名	所属・職名	備 考
黒田 忠良	NPO法人徳島ツーリズム協会 代表理事	
小延 光	公募市民	
田口 太郎	徳島大学大学院 ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 准教授	
玉有 繁	元徳島文理大学総合政策学部 教授	会長
田村 耕一	公益財団法人徳島経済研究所 専務理事	
本田 利広	四国大学経営情報学部 学部長	
森 恵子	公益財団法人阿波人形浄瑠璃振興会 会長	副会長
大和 たきみ	公募市民	
吉村 昇	一般社団法人徳島新聞社 理事 事業担当 事業局長 兼 地域連携推進室長	
吉森 章夫	徳島県音楽協会 会長	

(敬称略 五十音順)



## 徳島市文化振興ビジョン策定のための市民会議開催経過

回	開催日時	内容等
第1回	平成27年10月16日 午後2時30分から 午後4時15分まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員委嘱</li> <li>・会長、副会長の選出</li> <li>(1) 徳島市文化振興ビジョン策定について</li> <li>(2) 文化施策を取り巻く状況について</li> </ul>
第2回	平成28年2月1日 午後2時30分から 午後4時30分まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 徳島市文化振興ビジョンの構成について</li> <li>(2) 徳島市文化振興ビジョンで扱う文化の範囲等について</li> <li>(3) 本市の文化・芸術活動の特性及び現状と課題について</li> </ul>
第3回	平成29年1月23日 午後2時から 午後4時30分まで	<p>徳島市文化振興ビジョン(素案)の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組方針及び前回までの意見を踏まえた見直し内容</li> <li>・文化振興施策の方向性について</li> <li>・文化に関するアンケートについて</li> </ul>
第4回	平成29年2月3日 午後3時30分から 午後4時30分まで	<p>徳島市文化振興ビジョン(素案)の検討について</p>

## 用語解説

### あ行

#### アウトリーチ

英語で手を伸ばすことを意味し、文化芸術活動に関しては、文化芸術に接する機会や関心のない人たちに、文化芸術の喜びや楽しさや伝えていく活動のこと。

### か行

#### ガラススタジオ

徳島市勝占町にあり、ガラス工芸の創作・講座を行うための設備を備え、ガラス工芸ワークショップや制作体験講座を開催している体験型文化施設。

#### 共生社会

これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった人々が、積極的に参加・貢献していくことができる社会。

#### 芸術文化創造アドバイザー

本市の芸術文化事業への専門的な視点による総合的なアドバイスを得るため設置している。平成25年11月11日から作曲家の三枝成彰さんに就任していただいている。

#### 子ども文化フェスティバル

子どもたちの創造性や感性を育む機会を提供することを目的に、毎年8月にシビックセンターで子どもたちが主役となるワークショップやパフォーマンスを開催している。

### さ行

#### シティブランド

都市の名前から人々が思い浮かべる全体的な評価。その評価によって特産品を買いたい、観光に訪れたい、住みたいというような効果が生まれる。

#### シビックセンター

徳島駅前アミコビル内にある、市民の文化芸術活動をサポートするため、ホール、ギャラリー、活動室などの貸出や各種講座、イベントの開催を行っている施設。

#### 社会包摂(ソーシャルインクルージョン)

人々が、経済や社会、文化的な生活に参加し、地域社会等において一般的な生活水準や福祉を享受するために必要な機会や資源を得ること。

本ビジョンでは、文化芸術の持つ力を福祉や教育などさまざまな分野に活用し、社会参加機会の拡大、地域社会の絆づくり、共生社会への実現へとつなげていこうとするもの。

#### ジュニアのためのオーケストラ合同演奏会

徳島市芸術文化創造アドバイザー三枝成彰さんの出張音楽教室での、次世代の人材育成の一環及び生徒たちの日頃の練習成果の発表の場として、また市民の皆さんに音楽への関心を高めてもらうため毎年開催している。

#### 人口減少時代

出生数よりも死亡数の方が多く、継続して人口が減少していく状況となっている時代。

### た行

#### 徳島LEDアートフェスティバル

LED技術とアートが融合した新しい魅力を持つ「水都・とくしま」を創造することを目的に開催されるイベント。

## 徳島市芸術祭

徳島市文化協会が毎年実施している文化事業。「芸能祭」や「美術展」の開催及び市民文芸集「まゆやま」の発行を併せて徳島市芸術祭としている。

## 徳島市まちづくり総合ビジョン

社会情勢の変化に的確に対応していくため、平成29年度から平成38年度を計画期間とする新たなまちづくりの指針を策定し、平成29年4月からスタートした。

## とくしま市民遺産

市政120周年を機会に、普段の生活の中にあり、親しまれてきた徳島らしい文化、歴史、景観などを公募し「とくしま市民遺産」として45件を選定した。

## 徳島城博物館

徳島中央公園内にあり、徳島藩と蜂須賀家に関する歴史資料などを収集し、徳島市の成り立ちや文化に関する知識と理解を深めることのできる施設。

## は行

### 文化芸術

本ビジョンにおいては、音楽や演劇、美術などプロ・アマチュアに関係なく芸術に関わる文化をいう。

## ま行

### マチ★アソビ

眉山山頂や阿波おどり会館、新町川沿いにあるボードウォークなど徳島駅周辺などで開催され、アニメやゲームなどの関連会社や声優によるイベントや展示が行われる。

## わ行

### ワークショップ

知識や技術の一方通行的な伝達ではなく、参加者自らが体験し、グループ相互の中で何かを創り出したり学び合ったりすること。

## A～Z

### ICT(情報通信技術)

Information and Communication Technologyの略で、従来から使われている「IT」(情報技術)に通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉。